

# 社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟

## 平成23年度第二回通常総会議事録

日 時 平成24年2月18日（土）13時30分～14時45分  
場 所 東京海員会館 会議室（東京都中央区晴海3-7-1）

### 1. 定 足 数 の 確 認

出席会員14名、委任状33名、合計47名。従って正会員現在数75名の2分の1を超えて第28条（総会成立）の定足数に達しており、本総会の成立を確認した。

### 2. 開 会 の 挨 拶 安井 清 副会長

安井副会長 挨 拶

本日午前中の理事会で副会長に選任されましたが、石原会長、佐藤副会長が欠席ですので、リリーフとしてご挨拶します。

全国のクラブの代表者、指導者の皆さん、お忙しいところお集まり頂き有難うございます。日頃から子供たちの指導にご尽力頂き感謝申し上げますとともに敬意を表します。

今日の会議では第三号議案では今後の法人の方向を決める大事な議案があるので熟議の上慎重にご審議下さい。

本日の会議滞りなく進めたく何分のご協力を宜しくお願い申し上げます。

### 3. 来 賓 の 祝 辞

(1) (財)日本セーリング連盟の河野会長にご挨拶をお願いしたが、(財)日本セーリング連盟の理事会と重なり時間的に間に合わないが終了次第こちらに来ますので、皆様に宜しくとの連絡があった旨司会から説明あった。

(2) (財) B&G 財団の広渡専務理事にご挨拶をお願いしたが出張が入り出席出来なくなったので、代理として海洋センター支援部坂倉部長と同部海洋クラブ岡田課長が出席するが時間的に総会には間に合わず、意見交換会の頃には出席するので宜しくとの連絡があった旨司会から説明あった。

### 4. 議 長 選 出

定款第26条により会長が議長となるどころ公務の為欠席となり、佐藤精知夫副会長も体調不良の為出席出来ないとのことで、定款第14条の2により、次の順位の安井清副会長が議長に選出された。

### 5. 議 事 録 署 名 人 選 出

定款第30条による議事録署名人選出は議長一任の議決により、以下の2名が議長より推薦され全会一致で選出された。

佐野 文秀 氏（富山県ジュニアヨットクラブ代表）

大平 邦夫 氏（いわきジュニアヨットクラブ代表）

## 6. 報告事項（その1）

（平成24年度事業計画書(案)、同収支予算書(案)の説明を理解しやすくする為、報告事項である平成23年度中間事業報告書及び同中間財務諸表を先に説明報告する事とした。）

伊藤専務理事より配布資料に沿って平成23年9月末までの平成23年度中間事業報告書及び中間財務諸表について説明がなされた。

平成23年度の「国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2011」は愛知県蒲郡市の海陽ヨットハーバーで開催しました。3月11日に東日本大震災があり、大きな被害が起きて未だ復興途中ですが、再びヨットを再開する元気を出して貰おうと呼びかけて、被災した我々の仲間であるジュニアヨットクラブ、宮古ジュニアヨットクラブ、松島・名取ジュニアヨットクラブ、いわきジュニアヨットクラブの選手、指導者・保護者合計30名を競技会に招待しました。

「第31回日本少年少女オープンヨット大会」は全国大会として前年度と同じ江の島ヨットハーバーで5月ゴールデンウィークに開催予定でしたが、3月11日の東日本大震災とその後の福島原子力発電所の放射線漏れの影響を考慮して開催を中止しました。

自然環境保護の社会的動きの中で、6月第2週に新しい大会として昨年度から新しく始めた「ジュニアヨット・クリーンエコセーリング大会（ラムサール条約記念全国大会）」を鳥取県、島根県の県民運動となっている中海・宍道湖一斉清掃活動の時期に合わせて、去年の鳥取県米子市に続いて今年は島根県松江市本庄町で開催しました。

三起商行(株)からは引き続き東京都若洲ヨット訓練所での「ジュニアヨット国際親善レガッタ」にご支援頂き、第21回大会を「ミキハウスカップ2011」として開催しました。

6年間事務局長を務めて頂いた吉村茂理事は、一昨年後半から体調を崩し、昨年に入ってから入退院を繰り返し人工透析も始まり、7月13日療養の甲斐なく逝去されました。

正会員については、休会から活動再開した大町B&G海洋クラブの代表者1名が増え、休会となった3クラブ、神奈川県ユースヨットクラブ、鹿児島ジュニアヨットクラブ、鹿屋海洋スポーツクラブの代表者が3名減となり、現在はクラブの代表者の正会員57名に、クラブの代表者以外の正会員、理事、監事、委員、元副会長、元監事等の16名で、合計73名です。

公認指導員の認定、更新作業については前事務局長の病気、交代等の諸事情から昨年3月までの作業が出来ていなかった事情があるので、早急に平成23年度更新、認定の事務手続きと平成24年度の事務手続きを併せて進めます。

中間財務諸表の中で、財産目録に未収会費として記載している通り、正会員の年会費未納者が多いです。事務局長の交代事情等もあり督促が遅れていますが、早急に督促をして納入をお願いしたいと思っています。

一般会計はほぼ予算通りで推移していましたが、8月の国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2011（蒲郡大会）の特別会計について、予算に比較して収入不足の状況が競技会準備

中に判明して来ました。即ち、スポーツ振興くじ助成金が20万円減額査定、特別協賛金100万円が得られない、地元自治体補助金が得られない、広告料等の予定収入減、参加選手の減少等ですが、一方で、東日本大震災の被災クラブの無料招待、地元役員増等で、当初支出予想に増加要因があり、連盟自己負担金が230万円増となることから、これを一般会計から繰り入れなければならず、従って一般会計での収入不足が想定されました。この対策として、「ジュニアヨットクラブ競技会特定資産500万円を取崩して、この不足に充当することとしたい」という事で7月に臨時総会を開催して変更収支予算書をご承認頂きました。

特別会計については、Ⅱ（第31回日本少年少女オープンヨット大会）は中止となりましたが、Ⅰ、Ⅲ、Ⅳについては全て大会が終了しており、関係先への報告も済んでいます。

## 7. 議 案 審 議

### 1) 第一号議案 平成24年度事業計画書(案)承認の件

伊藤専務理事より配布資料に沿って平成24年度事業計画書(案)の説明を行った。

従来毎年開催してきた大会、競技会について登録クラブの意見や理事会での検討を踏まえて全体を見直して、7月～8月はジュニアのいろいろなヨット大会、選手権大会が毎週のようにあるような状況を勘案して、国際交流競技会は8月開催を5月ゴールデンウィークに変更して、8月初めは何か別の企画、初心者ヨット大会も含めて考えることとしました。

又、6月第2週に、鳥取県、島根県の中海、宍道湖で開催して来た「ジュニアヨット・クリーンエコセーリング大会（ラムサール条約記念全国大会）」も、開催時期や会場の地理的位置から、選手の参加増加が見込めないことから主催はやめて、連盟としては地元開催に後援をすることとします。

その結果、新しい試みとして、5月3日～5日のゴールデンウィークに国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2012を開催することとしますが、会場としては、2020年東京オリンピック・パラリンピック招致支援活動として、財団法人日本セーリング連盟、東京都ヨット連盟との共同主催で、東京オリンピック・パラリンピック招致が決定した場合のセーリング会場となる東京都意見若洲ヨット訓練所において、「2020東京オリンピック・パラリンピック招致ウィークの一環として開催する予定です。

クラブ対抗レースの特別賞としては、昨年同様に幅広くという事で、優勝クラブ、2位、3位の3クラブ各1名に特別賞を授与する計画です。

毎年9月に東京都若洲ヨット訓練所で開催して来たジュニアヨット国際親善レガッタ（ミキハウスカップ）については、昨年の大会時に、三起商行（株）の本社所在地（大阪府八尾市）の大阪或いは神戸等関西地区でミキハウスカップが開催出来ないかとの提案があり、候補地として西宮、琵琶湖等を検討の結果、大阪北港ヨットハーバーで開催予定で詳細を詰めているところです。

引続き東京都若洲ヨット訓練所でもミキハウスカップは開催予定で、東京国体リハーサル

大会等の日程の関係から10月開催予定です。

又、この二つのミキハウスカップの特別賞として、関東水域OP連絡会が毎年3月に実施している「タイクニック」に参加する費用と資格を授与する特別賞の企画を考えております。

各クラブの運営の問題、クラブメンバーの減少、当連盟の正会員、登録クラブの減少や各大会への参加者の減少等のいろいろな問題、解決案等について討議したく、昨年が続いて本日の総会後に再度クラブ代表者意見交換会を予定していますが、今年度は各地にこちらから出かけて行ってお話を伺いたとも考えているので、忌憚ないご意見を頂いて、今後の連盟の活動に反映させて行きます。

ユースセーリングは第82号を昨年3月末発行予定のところ、東日本大震災の影響もあり、発行が遅れてしまったので、今年の3月末までに第82号・第83号合併号ということで発行を計画しており、各登録クラブから頂いているジュニアセーラー名簿に従って、子供たち全員に送付したいと考えています。

平成24年度年会費、登録クラブのジュニアセーラー名簿の提出とクラブ負担金についてもご理解とご協力をお願いします。

その後、議長より第一号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決された。

## 2) 第二号議案 平成24年度収支予算書(案)承認の件

伊藤専務理事より配布資料に沿って平成24年度収支予算書(案)について説明を行った。一般会計、特別会計Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴのそれぞれにつき説明した。

一般会計の収入面としては、正会員、賛助会員の募集に務めることと、機関誌ユースセーリングや大会プログラムへの広告の増に務めること、登録クラブ負担金についての理解を頂くように説明努力を続ける事、寄付金のお願い等が重要であることを説明し、支出面では全般的に経費節減に一層の努力を続けることと、既に事務局業務委託費は引き下げをお願いしたことを説明した。

(財)日本セーリング連盟は昨年から環境保護活動の補助金制度はやめたということで補助金はなくなったものの加盟特別団体負担金は継続して納入しなければならない。新法人移行関係支出はさくら総合事務所等に内閣府申請を依頼している費用、認可された場合の登記登録費用等です。

特別会計については、Ⅰ(国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2012)はスポーツ振興くじ助成金の申請ベースで、Ⅱ(日本少年少女オープンヨット大会)は実施しないが前年度との比較でゼロ予算で作成した。

Ⅲ(ミキハウスカップ東京2012)は前年度並みの予算とし、Ⅴ(ミキハウスカップ大阪2012)は新しい大会として参加選手数等不明だが想定ベースで作成した。

IV（ジュニアヨット・クリーンエコセーリング大会）は連盟としては主催しないことで、前年度との比較でゼロ予算とし、一般会計に後援ベースでの関連支出を計上した。

その後、議長より第二号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決された。

3) 第三号議案 新公益法人対策委員会による新法人移行に関する答申書「非営利型の一般社団法人」として内閣府に移行認可申請手続きをする（案）承認の件

中川理事（新法人対策委員会委員長）より配布資料に沿って議案の提案趣旨について、背景及び10名の委員による委員会の検討とさくら総合事務所との打ち合わせの経緯を説明した。

定款変更等最終的な申請書類については6月の通常総会で承認を得てから内閣府に移行申請をすることになるので、今回は今後の方針について承認を頂きたい。

質疑応答の後、議長より議場に承認を求めたところ全会一致で承認可決された。

議長は、以上により平成23年度第二回通常総会の議案の審議は全て終了したので閉会を宣した。

## 8. 報告事項（その2）

1) 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2012（東京都若洲ヨット訓練所）について

小野常務理事より説明した。

今年度は、「2020年東京オリンピック・パラリンピック招致ウィーク」の事業の中でのジュニアの競技会として、5月3日～6日、東京都若洲ヨット訓練所で、（財）日本セーリング連盟、東京都ヨット連盟との共同主催で開催する。

3日には昨年の蒲郡大会でも実施して好評だった外国チームのコーチによるワンデイクリニック

ヨット教室を計画し、競技会のレースは4日～5日に5レースとして、6日にはOP級の次のクラスとしての420級体験ヨット教室を実施し、その間に3日国際交流会、4日懇親会を開催して、オリンピック招致の雰囲気盛り上げる。

外国チームは7ヶ国予定している。

収支予算として概略850万円で、収入としてくじ助成370万円、東京都250万円を見込んでいるがこれは4月にならないと確定しない。

2) ミキハウスカップについて、今年三起商行（株）の本社のある大阪でも初めて開催することとし、東京でも継続して開催するということになりました。

先ず、東京での大会「第22回ジュニアヨット国際親善レガッタ（ミキハウスカップ東京2012）」について担当の森田委員より説明があった。

国際親善レガッタと銘打っているので、国際親善が図れるように、在日の外国人選手の参加を沢山動員するよう努力したい。

日程は、例年の9月を変更し10月14日（日）、場所は例年通り東京都若洲ヨット訓練所。

3) 大阪のミキハウスカップについて、担当の小野澤理事から説明があった。

大阪北港ヨットハーバーで、大阪北港ディンギーヨットクラブの協力を得て、9月23日（日）に東京大会の前に開催します。

ここは、15年ほど前に全国少年少女ヨット大会を開催したハーバーです。

三起商行（株）さんも、本社が大阪府八尾市なので、新入社員を動員して手伝って頂けるということで、前日22日（土）には三起商行（株）さんの皆さんにヨット体験教室等の企画も考えている。神戸のインターナショナルスクールにも声を掛けて外国人選手、応援を動員してこのヨット体験教室にも乗せたい。

ロッジ舞浜という比較的安い宿泊設備も近くに有るので遠方のクラブは前日に入って貰っての練習、イベントも計画出来るし、大会後に1泊して大阪見物も出来ると思うので沢山の参加をお願いしたい。

## 9. 閉会の挨拶

司会進行の熊川事務局長よりこれで総会での報告事項が終了したことが案内された。

最後に、安井清副会長から閉会のお礼の挨拶があり、散会した。

（14時45分に終了する。）

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は記名、押印する。

平成23年2月18日

議 長

安井 清 ( 印 )

議事録署名人

佐野 文秀 ( 印 )

(富山県ジュニアヨットクラブ代表)

議事録署名人

大平 邦夫 ( 印 )

(いわきジュニアヨットクラブ代表)